

科目ナンバリング		U-LAS20 10001 SB48							
授業科目名 <英訳>	英語リーディング ER71 1A6 English Reading			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 布施 将夫				
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	金4		配当学年	1回生	対象学生	全学向
<b>[技能領域]</b>									
アカデミックリーディング									
<b>[授業の概要・目的]</b>									
<p>アメリカの著名な歴史家ダニエル・J・ブアスティンの著作『The Discoverers』を読み、CDでリスニングをしていく。アメリカ史学史の位置付けでは、コンセンサス学派の一人とされるブアスティンの手になる本書は、複数の偉人の人生を、各章で簡潔に紹介したものである。本書を味読することで、学生には、今後の人生の方針を考えて欲しい。</p> <p>そして、博識なブアスティンの論理的な英語を読み親しみ、聞きなれることは、学問的な英語の読解能力やリスニング能力を高めることにもなる(演習形式)。</p>									
<b>[到達目標]</b>									
アカデミックな英語の文章を、構造的に理解・把握できるようになる。その結果、英語の長文を簡潔、かつ迅速に説明できるようになる。									
<b>[授業計画と内容]</b>									
<p>この授業では、論理的で緻密な洋書の伝記を読み聞きして、さまざまな偉人の人生をどう捉えるかを考えていく。なお、親しみやすい近代の人物から取り扱う。</p> <p>第一回、オリエンテーション(授業の進め方や評価方法の説明)  第二 - 第七回、第5章のハインリッヒ・シュリーマンを読む  第八回、小テストとまとめ、もしくはCD試聴  第九回、シュリーマンの章をリスニング、もしくは読み残しを読了する  第十 - 第十四回、第4章のアイザック・ニュートンを読む(余裕あればリスニング)  第十五回、期末試験  第十六回、フィードバック</p> <p>なるべく自力で英文の論理の読解に努めてもらうため、一回の授業で四人くらい口頭で発表してもらう。一定量の英文(未定だが、たとえば一人半ページ)を、英文を読んでから翻訳し、各段落の要点を簡潔にまとめてもらう。  発表担当者以外の方も、一回の授業分を見越して予習しておくこと。</p>									
<b>[履修要件]</b>									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
----- 英語リーディング ER71(2)へ続く -----									

## 英語リーディング ER71(2)

### [成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。  
平常点（授業への積極的参加）10%、口頭発表15%、小テスト25%、期末試験50%。  
（もし万一、小テストが不可能な場合、期末レポート75%に変更。）

### [教科書]

Daniel J. Boorstin 『The Discoverers』 ( Kinseido ) ISBN:978-4-7647-0501-2

### [参考書等]

（参考書）  
授業中に紹介する

### [授業外学修（予習・復習）等]

なるべく自力で英文の論理の読解に努めてもらうため、一回の授業で四人くらい口頭で発表してもらう。発表者には、授業中に一定量の英文（未定だが、たとえば一人半ページ）を翻訳し、各段落の要点を簡潔にまとめてもらう。

発表担当者以外の方も、前回の授業内容を復習しつつ、一回の授業分を見越して予習しておくこと。

### [その他（オフィスアワー等）]

### [主要授業科目（学部・学科名）]